

氏名	梅崎 薫	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	ソーシャルワーク、保健福祉、家族支援、修復的対話（修復的正義の対話）、コミュニティづくり				
学位	博士（医学） 修士（社会福祉学）				
学歴	1994年東京都立大学院社会科学部社会福祉学、99年富山医科薬科大学院医学系研究科環境系専攻博士課程				
経歴	2005年埼玉県立大学助教授（07年准教授）、13年埼玉県立大学教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会（編集委員）日本公衆衛生学会、日本高齢者虐待防止学会（評議員）				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	「司法福祉・実践と展望」	共著	あり	ぎょうせい 全299頁	編者 伊藤富士江、トピック修復的対話トーキングサークルの経験から -被害者を癒し、その権利を保護するために-梅崎薫 282-283頁を執筆	2021年10月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	日本版修復的対話トーキングサークルの継続的参加体験が青年期の大学生に与える心理的影響	共著	あり		保健医療福祉科学, 1-12	梅崎薫, 横山恵子, 川添学, 佐藤晋爾
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
3						
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
3						
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
3						
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ソーシャルワーク論III	○	15	SW実習Ⅰ修了後に、実習Ⅱにむけて、理論と演習・実習を統合できるよう各担当教員と連携して授業計画を組み立てた。		
2	高齢保健福祉論	○	15	成年後見制度、解決志向アプローチ、高齢者虐待の未然防止として修復		
3	ソーシャルワーク特論	○	15	大学院博士前期課程		
4	長寿保健福祉システム論	○	15	大学院博士後期課程前期セメスター		
5	長寿保健福祉システム論	○	15	大学院博士後期課程後期セメスター		
8						
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ソーシャルワーク演習Ⅱ	○	15	SW実習Ⅰにむけて、児童家庭、高齢、保健福祉、司法福祉などを視野に、理論と演習を統合できるよう授業計画を立て実施した。		

2	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	社会福祉とは何かについて、入門的な講義と自由なディスカッションを通して、学生の理解を深めた。
3	社会福祉専門演習Ⅱ	○	15	高齢者と家族に関する基礎的な文献抄読、学生の個別関心に添い先行研究からの報告・考察にて卒業研究の関心を明確化した。
4	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	卒業研究を視野に個々の研究関心に添い先行研究を探索。既存統計からの分析結果を報告。質疑応答により考察し焦点化した。
5	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	卒業研究として論文化内容を相互に報告・議論して、理解を深め、さら
6	ソーシャルワーク実践	○	15	大学院博士前期課程
7	長寿保健福祉システム演習	○	15	大学院博士後期課程前期セメスター
8	長寿保健福祉システム演習	○	15	大学院博士後期課程後期セメスター
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2021.10～2022.3	巡回指導では指導者との関係形成等を確認し、帰校指導では異なる施設間での共通性、ジェネリストソーシャルワークの理解を促した。
2	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		2021.10～2022.3	施設実習において、対象者理解、信頼関係の形成、実習後の考察に必要な情報を理解できるように指導した。
3	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2021.10～2022.3	実習Ⅰで体験した内容を大学で学んだ理論で説明するよう促し、説明し、学生が理論と実践を統合化できるように指導した。
4	IPW実習		2021.4～2022.3	看護学科、作業療法学科、健康開発学科口腔衛生専攻、健康行動専攻、社会福祉学科、5名の学生を担当した。
5	共生社会実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	○	2021.4～2022.3	社会福祉学専攻、3年生、4年生の科目で、5名の学生が履修した。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
2	修士論文		2021.4～2022.3	主指導（指導教員） 0名 副指導（指導補助教員） 0名
2	博士論文		2021.4～2022.3	主指導（指導教員） 0名 副指導（指導補助教員） 1名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
3				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	修復的対話 体験会	埼玉県立大学	公開講座 修復的対話を体験的に学ぶ	2021.4～2022.3
2	修復的対話（RJ）研修キーパー養成講座	RJ対話の会	オンライン修復的対話のキーパーを担うための研修	2021.4～2022.3
3	児童福祉司任用資格認定講習会	埼玉県	社会福祉援助技術論「家族支援のソーシャルワーク」	2022.1.26
4	オンライン対話の会事業	RJ対話の会	オンライン対話の会事業	2021.4～2022.3
8				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	越谷市	越谷市成年後見センター運営委員 委員長		2021.4～2022.3
2	越谷市	越谷市障害者地域自立支援協議会委員		2021.4～2022.3
3	三郷市	三郷市介護認定審査会委員		2021.4～2022.3
4	八潮市	八潮市防災会議委員		2021.4～2022.3
6	三郷市	三郷市成年後見センター運営委員		2021.4～2022.3
5	越谷市	介護相談 相談員		2021.4～2022.3
6	特定非営利活動法人RJ対話の会	代表理事		2021.4～2022.3
7	日本医療ソーシャルワーカー協会（旧医療社会福祉協会）	研究倫理審査委員		2021.4～2022.3
8	日本ソーシャルワーク学会	編集委員		2021.4～2022.3
9	日本高齢者虐待防止学会	評議員		2021.4～2022.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
3				

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
3				
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会委員		2021.4～2022.3
2	学科等における委員会等	専攻長		2021.4～2022.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会		2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			